

令和6年度第12回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和7年2月28日（金）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 高本孝一
委員 坂田由美子
委員 林田新也
委員 鷹木 愛
- 5 欠席委員 なし
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 岩男竜彦
学校教育課 渚上佳宏 教育審議員
小林信一 指導主事
西和佳子 指導主事
末永 舞 課長
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 牧野淳一 課長

●中島栄治 教育長

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第12回教育委員会2月定例会を始めたいと思います。よろしくお願いします。

先週、臨時の教育委員会議を開き、人事案件についてご確認いただきました。報道などで教職員不足が取り上げられてますが、本市の先生方は現在の人数でこども達、それから学校教育活動全般についての対応を一生懸命行っているなと思います。先生方の頑張りを私は誇りに思っております。

働き方改革を進めなければと言いながら、どうしても人手不足がありますので、先生方一人ひとりの負担というものが大きくなってる現実を受け止め、教育委員会として何かできることはないかと考えていきたいと思っています。

それでは会議に入ります。会議録の署名者の指名です。坂田委員・鷹木委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか？

では、前回会議録の承認ですが、ご承認いただけますでしょうか？

《全員、了承》

ありがとうございます。

では、私の方からの報告をさせていただきます。

1 ページめくっていただきまして、2月の動静をお願いしたいと思います。

1月31日 市PTA連絡協議会との懇親会でした。様々な方とお話ししましたが、やはり新型コロナがあり、集まりが出来なくなり社会教育団体としての役割が少し薄れてきているのではないかと。また、PTA組織自体が、毎年メンバーが入れ替わりすぎると、またゼロからの出発となる。1年かけてようやく顔見知りができ、次年度はこういうことをするというのが出来上がってきて、さらに次の年はそのことを積み上げていくというようなサイクルが、ほとんどの役員さんが入れ替わると最初からとなってしまう。自分のこどもさんが卒業されたりして、PTAと縁が切れるというようなところがありますので、顧問の皆さんを入れることで、去年何をしていたかが確実に伝わっていくようなPTA組織にしていかなければということをお伝えしました。

2月3日 庁議。政策推進本部会議。

2月4日 市校長会。これについてご説明します。最初に、入試・卒業・進級に向けて原点回帰とお話したのは、今年度4月当初に立てた教育目標や大切にしようという事項ができてないことがあるようなならば、それを見直して、来年度を迎える準備をしようとお話をしたところです。

そして小中一貫教育の推進状況。いくつかの指標がありましたので、その指標を基にお話をしました。最初に県学調の成果とお礼と書いてありますが、12月に実施された県学力調査の結果では、小学校は若干平均に満たないという項目もありましたが、中学校では全部の項目が平均を上回る結果になっています。これは小学校についてもっと頑張れということではなく、小学校のときの先生方の積み重ねが中学校になって花開いているという捉え方、小学校の時にできなかったことが、続けていくことにより中学校で花を咲かせている、成果が出ていますので、中学校の成果を小学校の先生方も一緒に共有してください。自分たちが頑張った成果だというふうに捉えてくださいとお話ししまし

た。そのためにも、基本的生活習慣と規律規範意識の醸成ということへのこだわり、共通ルール、特に忘れがちになるスマホルールと再登校指導ルール。

スマホルールというのは、こどもの物としてスマホを買い与えないというPTAにお願いしてある事項です。親が自分のものとして買い、こどもに必要なに応じて貸す。中学生までは自分のスマホではなく、親のスマホを必要に応じて自分が使う、だから夜など使う事を禁止されている時間帯は一旦親の管理に戻すことをもう一度徹底を図ってくださいとお話ししました。

もう一つ、再登校指導もPTAにお願いしてある事項として行っています。異髪・異装、非常に極端な格好や、先生の学習指導に関して非常に著しい妨害があるようなときには、一旦家に帰り、気持ちを整えて、準備をしてから学校に来るというルールを設けています。

続きまして、人事異動についてですが、正直力不足のお詫びをしました。現実には、すぐにはこの人材不足の解消は難しいということ、それから現実到现在のメンバーで何ができるかということで、退職後の人材の発掘をみんななどということでお話ししました。

2月5日 管内教育長校長合同会議。まずは所長から、今年度のまとめと次年度に向けてということで、人事異動関係ではあと1ヶ月の情報管理の徹底と人事異動の狙いの確認。また昇任できなかった人や希望通りの異動先とならなかった先生がモチベーションを落とさないようにフォローする準備をお願いしますというお話でした。

不祥事防止では県の3件の処分発表についてでした。管理職としての責任と自覚について強めに話されましたが、校長先生の中で職員が飲酒運転をしても仕方がないなと思ってる人は1人もいません。絶対させないと思ってます。

しかし、起こってしまった失敗例です。やはり僕は粘り強く繰り返し指導していくしかないだろうと思います。

人材育成という点では、他管内からの人材、初任の受け入れ、交流人事を今後もしっかり取り組みたいという事です。

続いて指導関係では、県学調の結果から県内での菊池管内の成果は上がっていると。結果だけではなく、とにかく昨年度との経年変化にこだわってほしい

と。集団を変えずに力がついてきてるのか、伸びてきているのか観察してほしいと言われました。

それと、小学5年生と中学2年生は春休み明けに全国学力調査があるので、春休みの課題をとの事でしたが、私はこの学年に限らず、全学年でそれまでの積み残し学習の復習を行わなければならないと思いました。春休みはモラトリウム期間に入ります。次の学年になって頑張ればいいか、となりがちです。しかし、それまでの学習の積み残しがあれば、次の学年では益々わからなくなる。ですので、春休み期間に基礎基本に戻って復習を徹底して欲しいと思いました。

終わりに、校長先生方、今年は菊池管内で10人の方が役職定年を迎えられます。完全に校長職を辞される方と、10人のうち数名は、役職定年を延長されます。

では戻りまして、

2月6日 小学校スクールバスのプロポーザルがありました。2社から応募があり、熊本電鉄に決定しました。午後から地域学校協働活動に関する講演会を行いました。関係の先生方とお話ししましたが、本市の学校規模が大きすぎて、全国的に見て好事例と言われる事例には合わせられません。全国的には、すごい学校があつて、たくさんお金を使って地域からもそれに対していろんなお金が出てと、とてもいいことですよって言われても、合志市ではそれは実現不可能です。実態にそぐわない。今後は、地域学校協働活動については実態に合った進め方を研修していく場にしたいとご相談したところです。

2月8日 こうしこども塾の閉校式がありました。

2月12日 異動ヒアリング最終日。

2月13日 定期監査講評。毎年指摘事項があり、書類の面に関して決裁不備のまま実施されていたりという内容でした。指摘事項に関しては、各部長をはじめ各課長に今後の対応をしっかりと行うように指示したところです。

2月14日 午後からALTのプロポーザルがありました。3社から提案があり、審査の結果、現在も業務を受託している業者に決定しました。やはり現在までの実績とフットワークの軽さなどが評価されたものだと思います。しか

し、非常に僅差での評点でしたので、次回は変更となる可能性もあるのかなと思いました。

次に同日 16 時 30 分から合志中学校生徒表彰の報告がありました。これは県で表彰を受けた生徒の報告です。内容は高校のオープンスクールのときに、年配の男性が倒れてるのを見つけ、介抱し大人に繋いで救急車に乗せ適切な対応をしてくれたということで、県で表彰を受けたものです。

2 月 15 日 人権フォーラム。秋山先生にお話をさせていただきました。私の感想は少し難しかったのかなと思います。その後、13 時から、ひのくに高等支援学校で愛生祭がありました。焼き物などの販売会がありましたが、沢山の人で賑わっており、販売品はほとんど売れていました。

2 月 17 日 市議会全員協議会、定例記者会見、庁議がありました。

2 月 18 日 一般質問の打ち合わせ。

2 月 19 日 校長等の期末面談。全校長先生方と県学調結果のお話をしました。

2 月 20 日 給食運営関係者会議を避難所で行いました。本日は担当者がいませんが、給食に関しては今、国の動向・熊本市の動向で教育委員方は市民の方などから何か聞かれたりしませんか？合志市は給食費無償化しないのかとか。そのときは、検討は以前から十分にしておりますと答えてください。検討はしておりますし、どういう支援ができるか、補助ができるかということを具体的に今、県や国の動向を見ながら考えているということです。教育委員の皆様もこのようにご理解いただければと思います。

2 月 21 日 市議会本会議。

2 月 22 日 臨時教育委員会。お世話になりました。

2 月 25 日、26 日 市議会一般質問。一つは、こどもまんなか社会をどう捉えるかという質問。それから命に関する教育についての質問。私からはこどもを真ん中に置くということは、みんながこどもと関わりをしっかりと持つことです。こども達自身の関わりを大事にしていく、それがこどもを真ん中に置く社会のありようです。例えば家族の中でも、こども中心とは、こどもの言いなりになることではなく、こどもを育てるために、みんながこどもの方向を見

て関わりを持つ。こども自身も親と関わりを持つ。そういった意味で、夢実現プロジェクトを作っておりますので、人との繋がり、これがこどもまんなか社会の実現に不可欠だと思っておりますということをお答えしました。

命の教育に関しては、議員から教職員や保護者に対しての研修の充実を実現してほしいというお願いで質問されましたが、私としては反対で、研修を行って、本当にこども達の中に命を大切にする意識や気持ちの醸成はできているか、その研修会の内容でいいのか。その点を重視して欲しいと。特に性に関する悩みは高学年からは異性の先生に話しにくい。ですから、性に関する教育を学校の中で実現していくための工夫と言うならば、ただ、講演会をしましたというより、悩みを持つこども達とどう繋がるか。複数の先生が1人のこどもと関わるような、学校組織の取り組みであったり、場面設定であったりを行っていますと説明しました。

2月28日 質疑の打ち合わせ。この後、企業連からの寄付の贈呈式です。

私の説明は以上ですが、何かご質問等ありませんでしょうか？よろしいですか？

では、続けて会議を進めたいと思います。

議題に移りたいと思います。令和7年度学校教育努力目標について担当から説明をお願いします。

● 洲上佳宏 教育審議員

令和7年度の学校努力目標の改訂にあたって、本日、教育委員の皆様の説明をいたしまして、委員の皆様からご意見等をいただいた後、正式に3月の教育委員会会議でご承認いただきたいと思います。よろしくお願いします。

改訂の趣旨ですが大きく四つのことを考えております。一番目が本年度の学校訪問や校長会議等でお願いしてきたことを加筆修正したこと。2番目に教職員不足、それから働き方改革を踏まえて、その部分については大きな方向修正をしております。また、3番目にそれぞれの学校で細かい問題はありますが、比較的良好と言える本市の学力、生徒指導の状況を底堅いものとするという視点で加筆修正をしました。つまり、今の良い状況、学力にしても生徒指導についても特に荒れている学校はありませんので、これを底堅いものにするという

視点で修正をしています。

それから4番目に中学校区の発表会が一回りしたということを受けて、新たに取り組むというよりは、現在の取り組みを徹底する視点を重視した内容で修正をしています。

最初に、重点取組①ですが「研究」という言葉を基本的に削除しました。

「研究」の代わりに「実践」という言葉を使用しています。

「教職員の意識改革の指導力向上」も「教育活動活性化」という視点、研究成果の啓発というよりは、実践成果をお互い共有することで、現状を底堅いものとする発想でそこを変えています。

重点取組②の二学期制を生かした子どもと向き合う時間の充実は今まで二重丸でしたが学校評価等を見ても良い結果が出ていますので、これについては一定の成果が見えたということで、一重丸にしています。

重点取組の③は大きく修正を入れています。タブレットを活用した授業展開。とにかくタブレットを使ってほしいということですね。また、デジタルドリルが思うほど使えていないので、デジタルドリルを活用した基礎学力定着、授業終末・家庭学習にデジタルドリルを入れようというところを強調しています。

重点取組④については、今までは「学校の意識変容」と書いてありましたが、働き方改革について一人ひとりが意識を変えないと変わりませんので「教職員の意識改革」という表現にしています。また、スリム化ということについては、よりはっきり廃止や縮小という表現に変えています。コミュニケーションを図るという部分もはっきりパワハラ等が起きないようにと言葉を追記しました。

具体的実践項目①については「統一による」という部分を「共通の」という言葉に変えました。また、教育相談を通した長期休業中の学習指導・生徒指導の充実についてわかりやすい文章に変えています。生活ノートの部分にデジタルドリルをプラスし、家庭学習の習慣もデジタルを導入すると。また、先ほども申しましたが、「研究」は「実践」・「研修」という言葉に変えています。ICT支援員は「タブレット」という言葉に、「多様」という部分は「効率的・

効果的」という言葉に変えています。「学力向上アクションプランの確実な実施」と「主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善」は削除しました。

「学校教育指導員」を「教育活動指導員」に変え、その方たちを活用した学びの補完をするという方向性を出してます。

「研究事業」を「授業公開（授業水準の平準化）」へ変更しております。

研究授業を授業公開と変えたというのは、指導案を書くということにこだわらず、お互いに授業を見せ合う中で、ある程度の水準を合わせていくという努力をして欲しいという意味で変更しております。

それから、具体的項目②ですが、ローテーション道徳をとにかくやりましょうということだけにしました。いじめと不登校は分けて記述し、いじめについては「早期発見」を追加し、「早期解決」の早期を削除しています。不登校については、「不登校児童生徒の教育保障」を追加し、関係機関を外部機関という表現に変えています。

こののは作品コンクールについては、来年度もう少し頑張り直そうということで二重丸にしています。

それから、新たに二つ追加しています。ふるさとカルタ等を活用した郷土愛の育成と環境整備、特に緑化・ボランティア等を通した心の教育の視点から体験的に学ぶという意味で新たに追加しています。

具体的実践項目③は、部活動指導にかかる負担軽減と修正しております。

また、最近性被害が増えていますので、命の安全教育を含む性に関する指導の充実を追加してます。

それから学校安全計画に基づいた安全教育の実施については、当たり前の話なので削除しました。

具体的実践項目⑤ですが、PTA活動への支援が下火になっていますので、PTA活動の支援という項目を追記しています。

具体的数値目標については、県学力学習状況調査を市学力調査スコア以上にするという数値目標に変更する。

タブレットを使用する授業を小学校は50%、中学校は70%とはっきり数字を表示したいと思っています。

本日、教育委員の皆様にご説明しましたので、ご意見等を私まで報告いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

●中島栄治 教育長

本日は、ご提案ということです。何かありましたら後日でも結構です、ご意見をお願いします。

では、報告事項に移ります。3月の行事予定についてお願いします。

● browse 教育審議員

3月の行事についてご説明します。

3月4日 市校長会議。

3月7日 中学校卒業式。委員の皆様、ご出席よろしくお願いいたします。

3月21日 小学校卒業式。

3月24日 小・中学校で修了式。退任式も同日に行われます。

3月28日 今年度最後の教育委員会会議をお願いしたいと思います。後ほどご承認願います。

3月31日 教職員退職者辞令交付式を16時から行いますので、こちらもどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

●中島栄治 教育長

以上ですが、何かよろしいですか。

お忙しいところ申し訳ありませんが、各行事へのご出席をよろしくお願いいたします。

28日13時半から教育委員会会議を実施する予定にしたいと思いますがよろしいでしょうか？

《全委員、了承》

よろしくお願いします。

それでは次に合志市生涯学習振興に係る功労者表彰実施要綱の制定についてお願いします。

●牧野淳一 生涯学習課

それでは、生涯学習課から生涯学習振興に係る功労者表彰実施要綱の制定について報告をいたします。現在、各コミュニティそして中央公民館、泉ヶ丘市民センターで地域住民の社会教育や生涯学習などの講座を行っておりますが、自主講座で講師やその活動の中心的な役割を担い、長年地域住民の社会教育推進に貢献された方に対し表彰をしたいということで今回制定をしたものです。市民講座内で表彰をしたいと思っております。説明は以上です。

●中島栄治 教育長

地域人材の方々に感謝状を贈って、講座や今後の地域貢献を続けていただきたいという気持ちも含めて10年を区切りに1回表彰する規定を設けるということです。よろしいでしょうか？

では、次の教育委員会の共催および後援に関する要綱の一部改正について説明をお願いします。

●末永 舞 学校教育課長

市長部局にも同様の要綱があり、教育委員会にも共催及び後援についての今回改正する要綱があるのですが、市長部局の要綱に一部改正があっており、教育委員会要綱の改正がなされておりましたので、今回一部改正を行うものです。内容は、市長部局要綱に合わせ教育委員会要綱中にも「協賛」という内容を追加するものです。これに伴い、様式等の変更もおこなっております。説明は以上です。

●中島栄治 教育長

これまで記載の無かった「協賛」を追加したという事です。よろしいでしょうか？

続いてその他に移ります。生徒指導について報告をお願いします。

●西和佳子 指導主事

1月末の不登校児童生徒数およびいじめの認知件数についてお伝えします。

1月末の長期欠席は全体で318名、不登校数が257名でした。昨年度よりも26名、先月よりも32名増加しておりますが、右側の欄をご覧くださいますと、直近2ヶ月連続で、ひと月の欠席が7日未満の児童生徒数は全体で54名となりました。

先月よりも27名増えております。中学校3年生の登校状況に改善傾向があるということで、これはやはり入試に関係があるようでした。

不登校傾向児童生徒数です。1月末で239名となりました。

民間施設等利用児童生徒につきましては、高等学校中等部2年生が1名追加、それから学び舎あとらぼに追加をしております。

それから適応指導教室利用の児童生徒数ですが小学校一年生が増えまして、1月末で34名の利用となっております。

いじめの認知件数は、1月は小中学校から報告はございません。累計9件で変わりありません。以上となります。

先月、中学校3年生の進路はどうなっているのかというお尋ねがございましたが、その件で1月末の定例報告で、中学校3年生64名が不登校と挙げておりますけれども、このうち20名が進路決定しております。

適応指導教室は5名の中学校3年生の生徒が正式に入室しておりますが、5名とも進路は決定しています。今現在、そこまでわかっておりますのでご報告いたします。以上です。

●中島栄治 教育長

今から次々に決定していくと思います。次回、もし就職する生徒がいる場合は報告をお願いします。中卒の場合の就職に関しては、国で必ず就職先を保障しなければならないとなっています。職業安定所を通して、正式な雇用契約を

結ばせて...ということになりますので、次回報告の準備をお願いしたいと思います。

以上で予定されてた議題等は終わりました。委員さん方から何かありませんでしょうか？

それでは、資料にはありませんが、事務局から給食費の今後の動向について説明をお願いします。

●岩男竜彦 教育部長

教育委員会としましては令和４年度、５年度に物価高騰による給食費補助として、約２，０００万円ずつ支出しております。今年度につきましては約４，０００万円、市から補助をしているような状況であり、値上げは抑えている状況です。

給食費の無償化の議論については、本市の対外的な説明として無償化は難しいだろうと。様々な法令等により、給食費の中の食材費は保護者負担であるとされており、今後は国の政策を注視していきたいと思っております。

２月２５日に自民党・公明党・維新で３党合意があり、その中に文言として２０２６年度から小学校について給食費無償化を実現すると合意文書に明記され、石破総理もその旨のご発言をされております。新聞報道でもそのような報道がございました。

本市としては令和７年度、まだ予算計上はしてありませんが、６月議会補正予算として、児童生徒の増加も踏まえ６，０００万円程度を市の補助として計上したいと考えています。保護者から見ると現状維持のように見えてご不満な部分もあるかもしれませんが、趣旨としては、他の教育費、優先順位が高いものに予算を割いている関係上、合志市独自の無償化は難しいという判断でございます。

国が２０２６年度、小学校から無償化という話があっておりますので、その動向を見ていきますが、国が完全に無償化するということは今までの経験からしてありえないと思っております。おそらく２分の１の補助又は４分の３など、補助率はわかりませんがその残りの市単独費用部分をどうするかなどは来年以降、国の方針を見てから具体的になってくると思います。重ねてですが、市と

して来年度の４月以降の給食費は現状維持という形でご理解いただければと思います。

物価高騰の分に関しては、予定は６，０００万円程度の補助を考えておりますが、想定以上の値上げがあった場合にどうするかというのは、予算に関わることになりますので、市長のお考えを確認しながら進めていきたいと考えておりますので、ご理解の程よろしく申し上げます。

●中島栄治 教育長

今後も、来年度につきましても物価高騰分に関しては何らかの補助の形で給食費を上げることなく実施したいというような方向で考えております。

他にご意見、ご質問等何かありましたら。よろしいですか。

では、以上をもちまして、令和６年度第１２回教育委員会議２月定例会を閉じたいと思います。お疲れ様でした。

～ 午後２時３７分 終了 ～